

「 平山小学校の伝統芸能の伝承活動の取組 」

1 学校名

南種子町立平山小学校

2 学年・人数

小学1年生から6年生（計22人）

3 場所・日時

(1) 練習の場所・日時

7月9日～11月27日 平山小学校体育館及び校庭、旧平山中学校校庭

(2) 発表の場所・日時

平山地区・平山小学校合同秋季大運動会（9月28日）

学習発表会（11月2日）

民謡大会（11月27日）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事や史跡について

(1) 名称

鳥刺舞（とりさしまい：県指定無形民俗文化財）、民謡「ヨーカイ」

なぎなた踊り、ヤートセイ、ひょうたん踊り、ちくてん

※ 本校は、様々な伝統芸能の伝承に取り組んでいる。

(2) 由来（鳥刺舞について）

鳥刺舞は、座敷舞（ざしきまー）の中の一つ。鳥刺舞は、竿の先に鳥餅をつけて鳥を生け捕るしぐさをする舞である。座敷舞は祝宴の座において自然に踊られるもので、同座の者たちが「ミイサイナ ミイサイナ」（見せてほしいという意味）とはやすと、踊り手が座の中央に出て、歌いながら物まねをするようなしぐさで、ユーモラスに踊る楽しく味わいのある舞である。座敷舞は、笛や太鼓といった鳴り物がないことや、歌詞に種子島の方言が多く見られることから、中世の頃、中央から伝わった芸能が元となり、この島でつくられた踊りではないかと言われている。

現在、座敷舞が伝承されているのは、島間と本校区である平山だけである。昭和56年に文化財保存活用事業を行い、後継者の育成に努め、平成7年には、「種子島南種子の座敷舞」として記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財として国により選択され、その伝承に努めている。

(3) 構成等

鳥刺舞・・・舞手1人、はやし手多数

なぎなた踊り・・・娘、与太郎武士、太鼓（大）、太鼓（小）、鉦

ヤートセイ・・・太鼓、鉦、入鼓、踊り子

ひょうたん踊り・・・太鼓、入れ鼓、鉦、踊り子

ちくてん・・・太鼓、鉦、踊り子

民謡「ヨーカイ」・・・特になし

5 保存会や地域との連携の具体

40年以上前から、各集落の踊り等の伝承活動が小学校においても行われていたようであるが、毎年、小学生が踊りを踊る仕組みは確立されていなかった。そこで、今から14年前の平成13年に、地域に伝わる伝統芸能を継承・保存するために、平山地区の4つの集落が3年ごとに指導を行っていく仕組みが確立した。初年度から3年間は、浜田集落の「なぎなた踊り」、次の3年間は、中之町集落の「ひょうたん踊り」、次が広田集落の「ちくてん」、そして、西之町集落の「ヤートセイ」を指導していただいている。昨年度から2回目のサイクルに入り、今年度は浜田集落のなぎなた踊りの2年目となる。

これらの活動に加えて、今年度、平山郷土文化保存会の方々から、鳥刺舞と民謡「ヨーカイ」の御指導をいただいた。来年度も引き続き、御指導をいただくことになっている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

総合的な学習の時間や体育の時間に伝統芸能を伝承し、練習する時間を確保している。また、これらの活動の発表の場として、毎年、平山地区・平山小学校合同秋季大運動会にて各集落から教えていただいた踊りを披露している。これに加え、今年度は、学習発表会と民謡大会で民謡「ヨーカイ」と鳥刺舞を発表した。発表の場を設定することで、子供たちの意欲向上へと繋がっている。また、郷土芸能の継承活動の様子等を学校だよりで保護者や地域民に積極的に広報している。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



「なぎなた踊り」の練習風景



秋季大運動会での「なぎなた踊り」の発表



「鳥刺舞」の練習風景



民謡大会での「鳥刺舞」の発表



民謡「ヨーカイ」の練習風景



民謡大会での民謡「ヨーカイ」の発表

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

参加児童： これからもこの踊りを学んで、他の人たちにも伝えていきたい。昔から今まで伝わってきた踊りや鳥刺舞を自分が踊ることができてうれしかったです。宇宙留学生だからこそできる体験をすることができた。平山の伝統を大切にしていきたいと思います。

保護者： 自分たちが小学生の頃も踊った覚えがある。今、大人になって伝統芸能を大切にすることの意味がよく分かってきた。小学校でこのように踊りを踊る機会があることをとても嬉しく思う。自分たちの子供が引き継いでくれることが嬉しい。

保存会： 子供たちが民謡を大きな声で歌ってくれたり、鳥刺舞を一生懸命に舞ってくれたりすると、とても感動した。子供たちに伝えていくことは伝承活動の大きな役目だと思う。これからも、学校と連携を図りながら、平山の伝統を伝える活動をしていきたい。

教職員： 多くの地域の方々に何度も来ていただき、直接触れ合うことで平山の素晴らしい伝統文化を知る良い機会になった。実際に教職員も踊ってみて、踊りに込められた意味や所作なども深く学ぶことができた。これからもこの伝統を守っていくことができる平山の環境を大切にしていきたいと思う。